

平成29年度学校評価 結果

	評価項目	生徒による評価(4点満点)					保護者による評価(4点満点)					肯定的意見(生徒)					肯定的意見(保護者)					教員自身による自己点検評価						
		1年	2年	3年	全体	H28	1年	2年	3年	全体	H28	1年	2年	3年	全体	H28	1年	2年	3年	全体	H28	平均	H28	肯定的	H28	課題と対策		
総務	質問 1	本校の状況や取り組みなどが島前高校だよりやホームページにより発信され、さらには本校の広報活動につながっていると思いますか	2.9	3.0	2.4	2.8	2.9	3.2	3.0	3.0	3.1	3.2	57.9	60.0	44.2	54.4	56.1	79.5	74.0	71.1	75.0	76.8	3.1	3.1	87.1	82.6	即時性に欠けたり、内容的に浅い部分もあり改善の余地がある。情報に敏感になり収集力を注ぐ。ホームページ事体の構造も古く見直し時期に来ている。	
	質問 2	緊急な連絡(休校時の対応など)が連絡網やホームページなどで適切に発信されていると思いますか	3.0	3.2	3.0	3.1	3.1	3.5	3.0	2.8	3.1	2.9	50.9	65.0	67.3	60.9	63.0	79.5	68.0	55.3	68.2	59.2					月間行事予定や保護者宛文書など保護者に役立つ情報提供を心掛けた。島外保護者を意識した、利用しやすいホームページに改善していく。保護者からの声「誰の番号で(生徒なのか保護者なのか)回しているのかよくわからない」とあったので、来年度は年度当初にきちんと確認(寮生の連絡も含めて)を行い、徹底したい。	
	質問 3. 保護者	P T A行事について学校と地域と保護者が連携をしながら活動を行っていると思いますか						3.1	3.1	2.9	3.0	3.3						68.2	72.0	63.2	68.2	81.0	3.4	3.4	93.5	100.0	満足のいく活動はできなかったと考えている。新たな活動を企画することはできないが、既存の行事の内容を工夫し参加意識を高めていく。	
	質問 3. 生徒	避難訓練を定期的に行い、緊急時に対する備えをしていると思いますか	2.8	2.9	2.7	2.8	2.8						61.4	66.7	63.5	63.9	63.0						3.1	3.1	80.6	91.3	定期的に活動を継続していく。火災対応だけでなく、その他の災害についても訓練を行う。	
教務	質問 4	本校は、アクティブ・ラーニング型授業や習熟度別授業などを取り入れ、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられる授業を行っていると思いますか	3.0	2.9	2.5	2.8	2.6	3.0	3.0	2.8	2.9	3.0	66.7	66.7	50.0	61.5	53.2	70.5	70.0	57.9	66.7	64.8	2.9	3.0	74.2	73.9	教務部として、アクティブ・ラーニングが導入される背景や意味を、あらためて生徒や保護者に伝える必要がある。夢探究などを通して地域に出て学ぶ機会が多げられていたが、2年生の評価が3学年で最も低い。原因を考えたが、全く分からない。外に生徒が出ていること、「特色ある授業づくり」が生徒にとって繋がっていないのかもしれない。生徒がどの点に満足できていなかったかが明確に把握できないが、現3年生は、1年次よりアクティブ・ラーニング型授業において協働することのできない生徒や否定的な生徒が一定数いるのは事実である。また、アンケートの時期が、学ぶ意欲がわかないことへの焦りを感じる時期でもあり、学力の伸長が実感できなかったことも評価につながっていると考える。	
	質問 5	本校は、外部講師を招聘するなどして地域の教育力を活かしながら、地域に根差した特色ある授業づくりに取り組んでいると思いますか	3.2	3.0	3.2	3.1	3.2	3.6	3.4	3.4	3.4	3.5	84.2	71.7	80.8	78.7	76.3	81.8	92.0	73.7	83.3	80.3	3.5	3.5	93.5	95.7	概ね高い評価をいただいたが、年間を通しての見通しをもちながら、生徒のキャリアに結び付けられるような工夫もさらに必要である。また、体育系の講師など今までと異なる分野の講師に依頼することも、生徒の興味・関心を高めるには効果的であると考えられる。	
	質問 6	本校は、図書館だよりや新着図書の紹介などを通して、生徒の興味・関心を喚起し、教養を高めるような資料を提供していると思いますか	3.0	2.8	3.0	2.9	3.1	3.0	2.9	2.8	2.9	3.1	68.4	63.3	75.0	68.6	77.5	52.3	54.0	42.1	50.0	62.0	2.6	3.6	61.3	100.0	図書館だよりの発行や新着図書の紹介は今年度は行ってないため、多くの方々に本校図書館の取り組みについて知っていただく機会は少なくなりました。代わりに、図書館で新聞記事や展示などは行っているが、PRが不足していたと感じている。次年度は、図書委員会を中心として、図書館の利用をさらに促進していきたい。	
生徒	質問 7	本校では、本校生徒指導部発行「高校生活のしおり」に則った指導が適切に行われていると思いますか	3.0	2.8	2.5	2.8	2.6	3.1	2.8	2.9	2.9	3.0	64.9	56.7	53.8	58.6	48.6	61.4	44.0	57.9	53.8	72.5	2.6	2.7	58.1	52.2	1学期職員会議にて質問があった服装髪型規定について、教職員の賛同を得られる規定を提出することができず、現在は現行の規定に準じ、指導を行っている。現在、生徒会とともに規定についての話し合いの場を設け、生徒の意見も活しながら、新しい規定を見直している。服装指導に関しては、セーターの色など統一見解の作成に難航して指導スタートが遅れたことが原因と考えられる。	
	質問 8	本校では、部活動等の加入や指導が熱心に行われていると思いますか	3.1	3.1	2.8	3.0	2.8	3.0	3.2	2.8	3.0	3.1	70.2	68.3	65.4	68.0	59.5	63.6	76.0	50.0	64.4	72.5	3.0	2.7	74.2	47.8	体育系・文化系ともに活発に活動し、部活動の結果はもとより、地域にも活発に出かけて様々なボランティア活動にも参加している。その反面、一部の生徒の活動について、判断に苦慮する場合もあった。今後は部顧問会とも連携し、協議を重ねるものごとを進めることを徹底し、継続して部活動や生徒の活動を支援できる体制を整えていきたい。	
	質問 9	本校では、生徒が安定した学校生活を送ることができるよう適切な支援(相談しやすい雰囲気づくりや面談等)が行われていると思いますか	2.9	3.0	2.8	2.9	2.9	3.2	3.2	3.2	2.9	3.1	3.2	71.9	68.3	71.2	70.4	66.5	77.3	76.0	68.4	74.2	78.2	3.2	3.2	90.3	91.3	本年度は、キャリア教育部発案の「キャリア面談」を実施し、より多くの教職員が生徒と話ができる機会を設けていた。また、今年度も例年と同じく、アンケートQUの活用例などを示し、データを活用した生徒面談を1・2年生担任に複数回行ってもらった。SOにも複数回来た校いただき、生徒が相談しやすい状況は整っていると考える。来年度もこの体制を維持していきたい。本年度は面談の機会が増えているので、今後はさらに生徒の内面理解をできる問答を心がけて対応していきたい。
	質問 10	本校では、寮生が自らの自治体制を構築し、団結した寮生活を目指すことができるよう指導が行われていると思いますか	2.7	2.5	2.7	2.6	2.9	3.1	3.1	2.8	3.0	3.2	50.9	35.0	55.8	46.7	48.6	45.5	50.0	39.5	45.5	59.2	2.9	2.7	74.2	60.9	本年度は、外泊等外出した寮生の動向について、地域の方々からご意見をいただき、外泊等の規定を見直し経緯があり、この点が寮生の「自治」に対する評価の低さとつながったのではないかと考える。来年度は、島嶼制度の変更も踏まえ、「自治」の在り方を教職員、寮生、保護者、地域の方々を含め、検討していきたい。寮の自治体制については、外泊ルールとの兼ねなどがあつたため、自治寮としての評価が下がっていた。2年生の中でも寮の運営に関して対話が出来ていない状況があるように思える。	
キャリア教育	質問 11	本校では進路に関する適切な情報が提供されていると思いますか	3.1	3.1	2.9	3.0	3.0	3.0	3.0	2.6	2.9	3.1	71.9	71.7	69.2	71.0	71.7	72.7	66.0	50.0	63.6	72.5	2.8	3.3	71.0	100.0	3年生の保護者から進路に関する情報が不足していたとの評価であった。保護者が何を求めているのかが分からず、対策を立てるのが難しい。学費や奨学金に関する情報、入社の制度などに関する情報、受験までのスケジュールに関する情報はPTA総会や科目説明会で出しており、進路の策にもまとめているが、それ以外にどのような情報が不足していたと感じているのかは個別に聞いていく必要がある。次年度のアンケートに自由記述欄を設けた「評価」か2をつけた人を対象に)。保護者がどのような点に不満であったのか、確認をする必要がある。学校では計画に沿って支援してきたが、保護者の方より密に連絡をとり、その計画をお伝えしたうえでご意向をさらに確認すべき場合もあった。	
	質問 12	本校では1人1人の進路に応じた支援がされていると思いますか	3.0	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.9	3.1	68.4	70.0	78.8	72.2	67.1	70.5	58.0	65.8	64.4	73.2	2.8	3.0	58.1	73.9	昨年に比べて、1人1人に応じた支援に関しては、生徒からの評価は伸びている。一方で保護者・教職員からの評価は下がっている。生徒からの評価が上がっている背景としては、進路全員面談を実施して、多様な大人と生徒たちが話したり、進路について問いかけられる環境を整備しているためだと考えられる。保護者の評価が下がっているのは、生徒から情報が伝わっていないことが想定される。教職員からの評価が下がっている原因は分からないため、自由記述欄を設けて意見を聞きたい。※アンケート文書が修正されていなかったため、一概に昨年度との比較は難しい。(進路コース・進路希望調査を今年度ははておらず、進路面談を実施している。)	
	質問 13	本校での「夢探究」は将来を考える機会になっていると思いますか	3.1	3.1	3.2	3.1	2.8	3.4	3.3	3.1	3.3	3.3	78.9	66.7	84.6	76.3	61.3	79.5	78.0	65.8	75.0	72.5	3.1	3.1	83.9	82.6	夢探究が将来を考える契機になっているかどうかについては、3年保護者からの評価が低い一方で3年生の生徒の評価が高い。生徒にとっては将来を考えるうえで必要な経験が出来たものと考えられる。保護者の評価が低いのは、9月頃になっても進路決定が出来ていない生徒もいるためではないかと考えられる。※アンケート文書が修正されていなかったため、一概に昨年度との比較は難しい。(夢探究は進路探究よりも、主体的・協働的に課題解決する力を育てる設計にしている。)	
質問 14	本校に入学して良かったと思いますか	3.1	3.3	3.2	3.2	3.3	3.6	3.7	3.5	3.6	3.7	71.9	80.0	80.8	77.5	81.5	88.6	90.0	89.5	89.4	88.7					学年が進行するにつれ、点数の向上が見られる。これは学校行事等での中心的活動する機会が増し、充実度が増したり、本校や島前地域の環境などの理解が進んでいるからではと考える。一方1年生においては、本校では「なんでも挑戦できる」という思いで入学してきたが、実際にはさまざまなギャップがあり、入学前とのイメージの違いに苦しんだ生徒が多く存在し、低い評価につながったのではと考える。今後は生徒の挑戦していきたい気持ちなどは尊重しつつ、「やらなければならぬこと」や「我慢しないといけないこと」などのバランスや折り合いも身につけることができるよう、支援並びに指導したい。		